

- 一二 軍人ノ服役教育軍ノ編制等ニ關シテハ全然各國ノ自由ニ委スルヲ要ス
- 一三 兵器彈藥及軍用器材ノ平時貯藏數量ヲ制限セントスルノ提案ニハ賛成セス
- 一四 民衆ニ依ル兵器彈藥及軍用器材ノ製造ハ帝國ニ於テハ何等國際平和ニ惡影響ヲ及ホスノ虞ナシ從テ現狀ニ對シ變更ヲ加ヘ又ハ制限ヲ設クルノ必要ヲ認メス
- 一五 毒瓦斯ノ使用ニ關シテハ人道上ノ見地ヨリ之ニ反對ス但シ會議ノ大勢之ヲ許ササル場合ニハ適宜ノ處置ヲ執ラレ度シ
- 一六 無防禦ノ住民地ニ對スル空中爆撃ニハ反對ヲ主張ス
- 一七 軍備制限實行ノ爲メ國際監督機關設置ノ提案ニ對シテハ之レ重大ナル主權侵害ニシテ且ツ初ヨリ協定各國ノ誠意ヲ否認スルモノナルヲ以テ之ニ反對ス
- 一八 帝國海軍々備ノ規模將來ノ企劃等ニ關スル報道交換ニハ同意スルモ右報道ハ帝國議會ニ於テ發表スルノ程度ニ準スルヲ要ス

第二節 議事經過ノ概要

第一 米國ノ提案

議事經過
ノ概要
米國ノ提
案

大正十年十一月十二日第一回總會議ニ於テ米國國務長官「ヒューズ」氏ハ海軍力ノ制限ニ關スル極メテ具體的ナル米國案ヲ提出セリ其ノ要旨ハ

- 一 主力艦建造計畫ハ目下實行中ノモノタルト否トヲ問ハス總テ之ヲ拋棄スヘキコト
- 二 老艦中ノ或モノヲ廢棄スヘキコト
- 三 關係國ノ海軍力ヲ決定スルニ當リ大體ニ於テ現在ノ海軍力ヲ考量スヘキコト

四 主力艦ノ噸數ヲ以テ海軍力測定ノ標準ト爲シ之ニ比例シテ補助艦艇ノ勢力ヲ割當ツヘキコト

ノ四綱領ヲ基礎トシ大戰ノ爲甚シキ創痍ヲ蒙リタル佛伊兩國ノ海軍力制限問題ニ付テハ後日更ニ之ヲ討議スルコトトシ先ツ以テ現ニ互ニ造船競争ヲ行ヒツツアル日、英、米三國ノ海軍力ノ制限ニ關シテノミ具體的提案ヲ爲サムトスルモノナリ該提案中主力艦ニ關スル部分ノ大要ヲ述フレハ米國ハ建造中ノ主力艦十五隻約六十二萬噸老艦十五隻約二十三萬噸合計三十隻約八十五萬噸ヲ廢棄シ

英國ハ建造中ノ主力艦四隻約十七萬噸老艦十九隻約四十一萬噸合計五十八萬噸ヲ廢棄シ

我國ハ建造未著手ノ主力艦八隻ノ造船計畫ヲ拋棄シ建造中ノ主力艦七隻（陸奧ヲ含ム）約二十九萬噸老艦十隻約十六萬噸合計十七隻約四十五萬噸ヲ廢棄セムトスルモノニシテ其ノ結果日、英、米ノ主力艦ハ米國十八隻約五十萬噸英國二十二隻約六十萬噸日本十隻約三十萬噸ト爲ルヘク而シテ今後十年間ハ原則トシテ此ノ狀態ヲ其ノ儘ニ繼續シ十年後ニ至リ始メテ艦齡二十歳ヲ超エタルモノノミニ限リ之カ代艦建造ヲ許シ尙代艦建造ノ結果日、英、米三國ノ海軍力ヲ各三、五、五ノ比ニ保タムトスルモノナリ

右「ヒューズ」氏ノ提案ニ對シ十一月十五日ノ第二回總會議ニ於テ英國全權「バルフォア」氏先ツ大體之ニ同意ノ旨ヲ宣シ我加藤全權又大體ニ於テ提案ノ主旨ニ異議ナキ旨ヲ明言スルト共ニ米國案ノ審議ニ當リ國家ノ安全ニ關スル問題ニ付テハ十分ノ考慮ヲ拂フノ要アリ此ノ見地ヨリ多少ノ修正ヲ提議スル心組ナル旨ヲ附言シタリ

第二 主力艦

十一月十六日ヨリ米國案ヲ海軍專門委員ヨリ成ル分科會ニ付議シテ専ラ技術的方面ヨリ之ヲ研究セシメタルニ同委員會ニ於テ我委員カ日、英、米三國海軍力ノ比率ヲ七、十、十トシ且陸奥ノ保留セラルヘキモノナルコト等ニ關シ提出セル修正案ニ付日米兩國委員間ニ意見ノ一致ヲ見ル能ハス依テ加藤全權ハ「ヒューズ」氏「バルフォア」兩全權ト會見シ其ノ結果米國案カ基礎

トセル現在勢力ナルモノノ算定法ニ付更ニ専門的査定ヲ遂クルノ要アルヲ認メ右ノ目的ヲ以テ更ニ日、英、米三國ノミノ海軍専門委員ヲ會合セシメタルモ是亦遂ニ協議不調ニ終レリ問題ハ日、英、米三國首席全權ノ間ニ審議セラルコトト爲リ三全權ハ屢々非公式會合ヲ爲シ隔意ナキ意見ノ交換ヲ行ヒタル結果十二月十五日午前ニ至リ日本側ハ米國提案ノ如ク十、十六ノ主力艦比率即チ日本ニ對シテハ三十一萬五千噸英米ニ對シテハ五十二萬五千噸ノ制限ヲ承認スルト共ニ英米側ハ陸奥ノ保留ヲ認メ又太平洋諸島防備ノ現狀維持ヲ日、英、米三國間ニ約定スルコトト爲シ三國ニ關スル限リ主力艦合計噸數ノ制限問題ハ全部解決ヲ見ルコトヲ得タリ

斯クテ同日午後直チニ日、英、米、佛、伊五國首席全權及海軍専門委員中ヨリ成ル十五人委員會ヲ招集シ其ノ席上「ヒューズ」氏ハ日、英、米三國間ノ前記假協定ヲ報告スルト共ニ佛伊兩國ニ對シ其ノ主力艦ヲ今後十年間現狀維持ト爲シ十年後ニ於テ代艦ヲ建造スル場合ニハ其ノ合計噸數ヲ十七萬五千噸ニ限ルヘシト提案セリ右ニ對シ佛國全權先ツ強硬ニ反對シ伊國全權ハ敢テ米國案ニ反對セサルモ佛國ト同一ノ噸數ヲ要求シ其ノ後數次ノ會議ニ於テ激烈ナル論戰ヲ經タル後佛伊兩國ニ於テ主力艦ニ關スル限リ米國提案ヲ承認シタリ

尙前記主力艦ノ合計噸數ニ關スル五國間ノ協定成立シタル後主力艦ノ單艦噸數ヲ三萬五千噸又搭載砲口徑ヲ十六吋ニ制限スルコトニ付テモ協定ヲ見タリ

第三 航空母艦

航空母艦ノ合計噸數ニ關シテハ米國原案ニ依レハ英米兩國ハ各八萬噸日本ハ四萬八千噸佛伊兩國ハ各二萬八千噸トアリタルモ日、英、伊三國側ニ於テ其ノ修正ヲ主張シタル結果英米兩國各十三萬五千噸、日本八萬一千噸、佛伊各六萬噸ニ改メラレタリ

第四 補助艦

補助艦

補助艦ニ關スル米國提案ハ巡洋艦、驅逐隊導艦及驅逐艦ノ合計噸數ヲ

米國 四十五萬噸 英國 四十五萬噸 日本 二十七萬噸

潛水艦ノ合計噸數ヲ

米國 九萬噸 英國 九萬噸 日本 五萬四千噸

ニ制限シ佛伊兩國ニ對シテハ之ニ準シ巡洋艦等十五萬噸及潛水艦三萬噸ヲ以テ其ノ限度ト爲サムトスルモノナリ本提案ニ關シ英國全權ハ先ツ潛水艦カ主トシテ通商破壞ニ使用セラルモノナルコトヲ理由トシテ其ノ全廢ヲ主張シタルモ佛國全權ハ巡洋艦等三十三萬噸潛水艦九萬噸ヲ以テ國防上絕對ニ必要ナリト論シテ一步モ讓ラス斯クシテ英佛兩國全權ノ間ニ激シキ論爭繰返サレタルカ終ニ巡洋艦等ノ補助艦ニ付其ノ單艦噸數ヲ一萬噸ニ制限シ搭載砲口徑ヲ八吋ニ限リタルノ外何等協定ヲ見ルヲ得サリキ

第五 太平洋島嶼ノ防備

太平洋島嶼ノ防備

太平洋ニ於ケル米領島嶼即チ比律賓、「グアム」島等ニ於ケル米國海軍ノ前進根據地ハ夙ニ我國防上ノ脅威ト爲リタル所ナルヲ以テ加藤全權ハ海軍力ノ比率ニ關スル協議ヲ進行セシムルト共ニ本問題ニ付テモ進シテ英米兩國全權ノ注意ヲ喚起シ太平洋ニ於ケル三國所領島嶼ノ防備ヲ現狀維持ト爲スコトニ彼等ノ了解ヲ得十二月十五日主力艦ニ關スル日、英、米三國間ノ假協定ト同時ニ本問題ニ關シテモ假了解ノ要旨ヲ公表セリ然ルニ其ノ後條約文ノ起草ニ著手スルヤ端ナクモ本協定ノ適用範圍ニ關シ日、英、米三國ノ委員會ニ見解ノ相違ヲ生シ交渉意外ニ紛糾シテ決セス海軍條約ハ唯一點ノ爲脱稿スルニ至ラサル始末ト爲リタルモ三國首席全權ニ於テ大局ニ顧ミ主トシテ協調ノ精神ヲ以テ交讓妥協ノ結果後段ニ説明スルカ如キ協定ヲ遂ケ茲ニ本問題ヲ圓滿ニ解決スルコトヲ得タリ

第六 海軍條約ノ起草

海軍ノ制限ニ關スル主要ナル事項ノ討議ハ大正十年ノ終頃ニ於テ略終結シタルヲ以テ五國法律專門委員ハ直ニ海軍專門委員ト協力シテ銳意條約案ノ起草ヲ急キ先ツ之ヲ五國首席全權ノ審議ニ付シ首席全權ハ數次ノ會議ヲ經テ一月十三日ニハ太平洋島嶼ノ防備ニ關スル部分ヲ除キ條約草案全部ノ起草ヲ終レリ而シテ起草會議中ノ最大難關タリシ太平洋防備問題ニ付テモ一月三十日ニ至リ幸ニ日、英、米三國間ニ圓滿ナル協定成立セルヲ以テ茲ニ海軍軍備制限ニ關スル條約ハ事實上全部完成シ翌一月三十一日ノ第二十回總委員會ニ於テ形式的ニ之ヲ審議シタル後二月一日ノ第五回總會議ニ於テ之ヲ決定シ二月六日ノ第七回總會議ニ於テ五國全權ハ之ニ署名調印セリ

第七 條約ノ改訂、效力及期限

條約ノ改訂
效力及期限

將來新事態ノ發生シタル場合ニ應スル爲條約ヲ修正改訂スルノ必要起ルヘシトノ說ハ夙ニ主力艦ニ關スル討議ノ際ニ生シタル所ナリシモ唯修正又ハ改訂ノ時期等ニ關シテハ必シモ意見一致セザリシカ條約ノ起草ニ當リ各國全權ノ間ニ幾度カ議ヲ繰返シタル結果

一 締約國中ノ一國カ其ノ海防ノ安全保持ノ爲必要ヲ認メタルトキ

二 技術上及科學上ノ發達ニ適應スルカ爲本條約ノ實施後八年ノ後

ニ於テ締約國間ニ會議ヲ開キ本問題ニ付協定シ得ヘキコトヲ決セリ次ニ戰時ニ於ケル本條約ノ效力ニ關シテハ實施上種種困難ナル問題ヲ豫見シ得ヘキヲ以テ協議ノ未交戰國タル締約國ノ申出ニ基キ大體ニ於テ條約ノ效力ヲ停止シ得ルコトニ定メ又條約ノ效力ノ存續期間ハ一應之ヲ十五年間トスル主旨ニテ決定シタルナリ

第三節 海軍軍備制限ニ關スル米國提案ト條約トノ比較

海軍軍備制限ニ關スル米國提案ト條約トノ比較

一、本表ノ比較ハ米國提案ノ順序ニ從ヒテ排列對比セリ
一、一 〔内ハ條約原文ノ引用ナリ〕

海軍軍備制限ニ關スル米國提案				海軍軍備制限ニ關スル條約			
提 案 内 容				條 約 内 容			
合 衆 國				合 衆 國			
一、合衆國ハ現在建造中並竣工ニ近ケル一切ノ新主力艦ヲ廢棄ス即チ建造中ノ巡洋艦六隻、戰艦七隻及進水セル戰艦二隻ヲ包含ス				一、合衆國ハ現在建造中並竣工ニ近ケル一切ノ新主力艦ヲ廢棄ス但シ建造中ノ「ウエスト、グーシニア」級二隻ハ除ク			
(註)建造中ノ新主力艦十五隻(竣工後ノ總噸數六十一萬八千噸)ノ廢棄				(註)建造中ノ新主力艦十三隻(竣工後ノ總噸數五十五萬二千八百噸)ノ廢棄			
二、「デラウエア」、「ノースダコタ」迄ノ一切ノ戰艦ヲ廢棄ス				二、「デラウエア」、「ノースダコタ」迄ノ一切ノ戰艦ヲ廢棄ス			
(但シ右二隻ハ合マス)				但右二隻ハ新主力艦二隻ノ竣工後廢棄スルコト			
(註)舊式戰艦十五隻(總噸數二十二萬七千七百四十噸)ノ廢棄				(註)舊式戰艦十七隻(總噸數二十六萬七千七百四十噸)ノ廢棄			
合 計				合 計			
○廢棄主力艦合計數三十隻(總噸數八十四萬五千七百四十噸)ナリ				○廢棄主力艦合計數三十隻(總噸數八十二萬五千七百四十噸)ナリ			
三、英帝國ハ新「フリード」型四隻ノ建造ヲ中止ス				三、英帝國ハ新「フリード」型四隻ノ建造ヲ中止ス			
英 國				英 國			
(註)若干ノ經費ヲ投シタルモ未起工ナル新主力艦四隻ノ減少(竣工後ノ總噸數十七萬二千噸)				(註)若干ノ經費ヲ投シタルモ未起工ナル新主力艦四隻ノ減少(竣工後ノ總噸數十七萬二千噸)			
帝 國				帝 國			
四、英國ハ前項新「フリード」型四隻ノ廢棄ニ加フルニ「キング、ジョージ」級ニ至ル迄ノ				四、英國ハ前項新「フリード」型四隻ノ廢棄ニ加フルニ「キング、ジョージ」級ニ至ル迄ノ			